

2020年5月7日

助成事業実施報告書

団体名 こまくさ工房

代表者・役職名 氏名 所長 河尾 豊司

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

こまくさフレンズ

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1999年滝乃川学園の榎本正雄指導員が、あきる野学園(特別支援学校)卒業生で、どの職場実習も失敗して行き場の無いような知的障がいのある人に対して、彼らでも通える通所作業所があるべきではと想い、滝乃川学園を退職、昭島市議や地元有力者・福祉行政担当者・教師に訴えて、私財を原資に通所作業所こまくさ工房を、同市に2002年開設しました。2010年NPO法人化させ、法人事業開始は2011年です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

就労継続支援B型こまくさ工房は、就労基礎力涵養のために、知的障がいの人が楽しい中でコミュニケーションに親しむ機会の提供が重要と認識し、抵抗感がなく柔軟な中に心身の交流を保障する音楽療法活動が至適と構想しました。孤立ではなく触れ合いと交流が目的です。

日本における音楽療法は、重症心身障害者児から、精神障害者・要介護高齢者・知的障害児へと広がりました。本プロジェクトは、自閉症・等を重複する知的障がいの人を対象に、音楽の持つ普遍的な癒しと発達障害者支援の有用性を、彼らの2次障害(孤立)軽減を願いつつ、確認検証せんとするものです。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

申請者は、相模女子大学特殊音楽演習室での週末知的障害児者を対象とした音楽療法活動の、音楽療法士との7年の協働実践経験(4ヶ月に1度)から、月1回の取り組みなら、なおさらの効果が期待できると想定しました。具体的には1セッションをと60分し、導入から終結まで、参加者用にアレンジした曲目を選定して、激しい動き・静かな動き・楽器を使う楽しさ・手を取り合うゲーム・心を交流させ合うプログラムを用意する。それぞれの障害特性への合理的配慮を巡らし、心地よき空間の中で、協調性と無縁で指示どおりが困難、てんでバラバラの心性の参加者に心的変化を期待します。実施後、毎回の振り返りを重ねる。観察成果と課題を記録化し次回に繋ぐ。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果=通年で12回実施、参加者数は延べ75名。成果=3人に顕著に出来ました。1人は53歳自閉症女性。就労作業では積極性が部分的にした出ないのに、特にリボン演技や好きな楽器では有意な積極的かつ創造的な動作の発揮が定着し、講師との心の対話もより深まった。二人目は、かねてより課題であった、殆ど上肢の動きがなかった強度の緘黙症の女性(44歳)に、支援員の助言で講師が彼女の好みのATSUSHIのDVDのBMを導入したところ、メキメキと明るく上肢の動きも広くなった。第三は筋ジストロフィー症を併せもつ知的障がいの人。この人も、

昨年度に加え、主体的な創意工夫は定着となり、就労作業にも奏功している。忙しくて、社会への広報は不実施。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

【課題】①強度の自閉症スペクトラム障害（余りにも自己流でベテラン療法士の企図にも乗らない硬さ）を持つ人3人には、中々その変容を迫る決定打が見つからない。支援員と講師との真剣な振り返り討議がまだ足りない。②変容が起こっている4人に対しては、今後も期待されるので、一度日本音楽療法学会に実践的研究発表し、全国の批判と助言を仰ぐのがいい時に来ていると考えられる。本年度購入のプロジェクト・スクリーン、ノートパソコン(自己資金)をどのように活用駆使させていくか。

【今後の展望】としては、まず、昭島市内の障害福祉系の作業所への成果の発表(印刷物)と参加の誘い、それと市内での公開セッションの機会の創出である。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成した毎回のセッション観察記録と年度のまとめ(部分)のコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供します。

参考資料あり ・ 特になし

2019年度真如苑助成金実施報告書 参考資料(活動写真)

活動名

こまかさフレンズ(就労継続支援B型作業所での音楽療法活動)



熱演のT君(筋ジストロフィー症)



自由自在のリボン演技(ダウン症君)



リボン演技を楽しむ(自閉君)